



News Letter

No.24

2007年4月1日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17 403

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8590 FAX 03-3530-8578

2007年 レイバーネット日本総会

「報道の質」を高め、新たな飛躍へ



2月11日、レイバーネット日本2007総会が都内で開催された。40名が参加し、終始活発なディスカッションが行われた。

第一部では、レイバーネットの報道の質を高めるために何が必要か、などを巡ってさまざまな意見が出された。

・伊藤代表のあいさつ「去年は会員が増え、創立以来の目標であった会員300人を実現した。またウェブサイトへのアクセスも1日1200をこえ飛躍的に伸びている。報道内容では、サウンドデモ・ヤスクニ・教基法などの分野で成果を上げることができた。ことしは、労働ビッグバン反対運動の分野で、それをより発展させたい」

・河添事務局長から活動方針の提案があった。内容は「労働ビッグバンとたたかう情報ネットワークとして、レイバーネット日本を発展させようという基

調で、(1)運動の現場からの情報提供者を増やす(2)情報の質をたかめる(3)新しい労働者文化の創造、などだった。また「動画投稿システムをつくりたい」との提案があった。会計は年間、約80万円のトントンの収支で健全だった。

・40分近い活発な質疑では意見・要望・注文が出された。これはレイバーネットの活動が実態をもってきた反映でもあった。最後に、事務局長より新年度の運営委員の提案があり了承された。新運営委員は、去年のメンバーに新たに5名が加わる形となった。

第二部では、労働基準監督官の丹野弘さんが、労働法制改悪の中身を詳しく解説。「労働ビッグバン」が労働者の奴隷化であることを生々しく語った。これとどう立ち向かうのか。大きな課題が突きつけられた総会になった。

パソコン技術講習会のお知らせ

- あなたも今日から「レイバーネット記者」-

4月15日(日)午後2時~5時

根岸の里パソコン塾(JR 鶯谷駅北口5分)

http://www.union-net.or.jp/negisi

内容・最低限必要なデジカメ&ビデオ撮影技術

・ウェブへのニュースやイベント情報のアップの仕方・その他パソコン・メールの基礎知識

参加者の希望にあわせて実地で教えます。

参加費無料(会員外は1000円)・先着10名

連絡先 レイバーネット日本・技術部(03.3530.8590)

*事前に申込みをお願いします。講習内容の希望もお知らせください。会場にはパソコンがありますが、ノートを持ち込むことも可能です。

レイバーネット日本4月例会案内

労働運動再生のために～労働教育とレイバーメディアの試み

4月4日(水)午後6時半～

SKプラザ地下ホール

(JR 飯田橋駅徒歩3分 03.3237.9995)

報告 高須裕彦(一橋大学フェアレイバーセンター)

青野恵美子(映像制作者)

ビデオ上映あり

参加費 500円(会員は無料)

連絡先 レイバーネット日本(03.3530.8590)

高須裕彦さん、青野恵美子さんは、アメリカ労働運動を実体験する中で、「レイバーセンター」とそこで行われる「労働教育」こそ労働運動再生の要と感じ、果敢にも日本でその試みを開始しました。今回の例会では、一橋大学を拠点に労働運動と連携しながら、

参加型労働教育、参加型映像制作などを意欲的に展開するお二人からお話を伺います。「労働教育」と言われてもまだまだ認知度の低い日本ですが、この例会をきっかけにその大切さや楽しさが伝わればとおもいます。



第二部「労働法制～何が変わるのか」

労働者に地獄もたらす「ごり押しシステム」

レイバーネット総会第二部は、「労働法制～何が変わるのか」というテーマで全労働中執で労働基準監督官(前)の丹野弘さん(写真中央)と「共同アピール運動」事務局の岡本哲文さん(写真右)からお話を伺いました。

丹野さんは、周到なレジュメをもとに労働法制の見直し・改悪のネライと今国会審議予定の労働関係法案の問題点を指摘した。経営側は、「国際競争の激化のなかで、スピード感のある経営を展開するため」、雇用量や労働条件変更の柔軟化・迅速化、労働コストの徹底的な圧縮を求めている。こうした背景のもと、派遣労働の規制撤廃や、雇用者の契約労働・個人請負・フリーランスへの転換強要、就業規則による一方的かつ迅速な労働条件変更(固定的賃金から成果主義賃金への転換促進、事業拠点見直しなどに伴う労働者の再配置)、解雇の金銭解決、ホワイトカラー・エグゼンプションなどの法制化が矢継ぎ早に打ち出されている。

労働契約法では、「合理的な労働条件を定めた就業規則が、労働者に周知されていれば、就業規則の記載事項をもって労働契約の具体的内容とする」とうたわれているが、「合理的な労働条件」は裁判で争われると否定される判決が多い。「合理的」という表現はきわめて問題だ。また就業規則の変更も、「合理的であれば・・・変更後の就業規則の内容が就業規則となる」としていて、この「合理的」も経営側からみた合理性にすぎない。経営側は、就業規則を労働契約とすることにより、スピード経営のための「ごりおしできるシステム」を作ろうとしている。

続いて報告では、労働基準法(ホワイトカラー・エグゼンプションを含む)関係法案、最賃法、パートタイム労働法などの問題点が説明された。

最後に丹野さんは、今国会でホワイトカラー・エグゼンプション法案の上程は見送られたが、秋の臨時国会も見据えていずれすべての法案の通過が狙われている。現実化のひとつのメルクマールはこれらの

課題が6月に予定されている経済財政諮問会議の『骨太方針2007』にのるかどにかにある。運動側はそれを意識してこれからの動きを作っていく必要があると語った。

岡本さんは、日本版エグゼンプションの撤廃を求めた「共同アピール運動」の経過を披露した。統一行動日をもうけ時計のパフォーマンスを考えたり、mixiのコミュニティに反エグゼンプション支部を作って一緒に行動したりと新しい行動スタイルを模索してきたことが運動の広がりにつながったことがよくわかる報告だった。

お二人の話から、新自由主義経済の下で、資本は「スピード経営」という言葉どおり簡単に労働条件を切り下げ、労働者を解雇し、不安定雇用をさらに増大させようと今回の労働法制全面改悪を迫ってきたことがよくわかった。このままでは労働者は奴隷にも等しい存在になってしまう。

エグゼンプションが問題だ、いや労働契約法がさらに深刻と様々な論議がされているが、わたしたちはこの「労働ビッグバン」を資本総体の攻撃として受け止め、労働組合はもちろん、それに所属しない大多数の労働者と一緒に反撃しなければこれを止めることはできないだろう。そのためには、この攻撃をしかけているのが誰なのか、そのネライは何かを具体的にわかりやすい言葉で表現することがまず必要ではないだろうか。御手洗経団連会長の「希望の国、日本」(御手洗ビジョン)は労働者の地獄だということを。(まとめ=佐々木有美)



レイバーネットの報道について(その4)

ケータイで現場から発信しよう

松原 明

私はPHSのケータイを愛用している。電話料金が安いこともあるが、電磁波が普通のケータイの10分の1で体にやさしいからだ。そして昨年秋には、機種を買い替えカメラ付きPHSにした。そのカメラは100万画素のCCDがついているので、30万画素のビデオカメラより鮮明な写真がとれる。ちょうど教育基本法改悪反対運動の時だったので、さっそく使ってみることにした。

12月のある日の国会前。全国から多くの人が集まり、強行採決に抗議するシュプレヒコールをあげていた。私は、それをケータイ(PHS)で撮り、数行のコメントをつけて、flashnews@labornet.jp.org(ケータイ投稿用アドレス)に送信した。その間、約10分。すると、瞬時にレイバーネットのニュース欄に掲載された。「見たよ。それで国会に駆けつけた」

という人もいてうれしかった。その日は結局、国会前から数時間置きに、フラッシュニュースを流すことができた。

これは使える。運動の武器になる。だれでもどこからでも特殊技術なしで、情報を発信できるのだから・・・。あと必要なのは「やる気」だけである。現在、このシステムを使っているのは、私を含めまだ「2名」しかいない。これはとっってももったいない。ケータイなら、たかひの現場だけではなく、日常の仕事や生活の場からも発信できる。ぜひあなたもトライしてほしい。

*なお、このシステムを使うには、事前にあなたのケータイのメルアドを登録する必要があります。希望のかたは、labor-staff@labornet.jp.org あてにその旨、お知らせください。

「ユニオンイエス! 映像キャンペーン」(仮)の提案

3月7日のレイバーネット拡大事務局会議で「ユニオンイエス! 映像キャンペーン」(仮)の提案が松原氏よりありました。以下はその素案です。皆さんのご意見をお願いします

企画意図

新自由主義といわれる資本のグローバル化と激しいコスト競争のなかで、そのしわ寄せがすべて働くものに襲いかかっています。労働者は二極化し、膨大な非正規労働者群と働く貧困層(ワーキング・プア)が生まれました。パート・ハケン・フリーターという不安定で無権利な労働者は、とくに青年・女性に集中しています。

マスコミもこの実態を無視できず、さまざまな報道がなされていますが、決定的なポイントが抜けています。つまり、問題解決のためには、労働者が組合をつくりたたかうことが一番重要であるということです。労働法制改悪が企図され、事態がもっと深刻になる状況のなかで、「ユニオンイエス」の声を上げることが重要になっています。実際、さまざまな職場で、労働者が声をあげユニオンに加入し、成果をあげてきました。それをもっと知らせましょう。

この「ユニオンイエス! 映像キャンペーン」は、こうした真実を映像で表現します。若者の間では、組合に対しての偏見や無理解があるので、これを打ち破るべく、若者に通じる表現形態を徹底的に追求し

ます。

そして、それを拡げることで「ユニオンイエス」の流れをつくっていきたいと考えます。また、この発想はレイバーネット・レイバーフェスタの実践と論議から生まれたものであり、キャンペーンは、レイバーネットのネットワークを最大限に生かした取り組みにしたいと思います。

内容

(1)パート・ハケン・フリーターなどで、若者の組合づくりをテーマにした映像作品の制作。20~25分くらいの集会向けのもの3本、および3分のインターネット配信のもの3本を、シリーズものとしてつくります。

(2)取材候補：ガテン系連帯・首都圏青年ユニオン・女性ユニオン東京・東京東部労組・全統一労組など。青年・女性に焦点をあてます。当面、偽装請負(製造業)・サービス業・パート(女性)などから取り組みます。

(3)映像以外にも、「ユニオンイエス」のキャンペーングッズをつくったり、さまざまな表現・パフォーマンスを考えます。

(4)キャンペーンを進める母体として「ユニオンイエス! プロジェクト」(仮称・代表/伊藤彰信)をつくり、運動の呼びかけ・賛同カンパ・スケジュールなどを具体化します。(企画提案 松原 明)

レイバーネット日本・2006年度会計報告

< 2005年度からの繰り越し >	468,309円
< 収入の部 >	
会費(247人分+1000円)	742,000円
総会・例会参加費	21,500円
カンパ	45,000円
その他	2,465円
小計	810,965円
< 支出の部 >	
ネット関係費	156,870円
ニュース印刷費	87,741円
ニュース発送費	94,510円
通信費(切手・宅配便等)	46,960円

印刷費(封筒等)	33,622円
会場費(例会等)	50,750円
講師謝礼	42,000円
交通費(会議・取材)	63,320円
文具	13,224円
雑費(コピー等)	21,636円
振込手数料	4,455円
郵便振替手数料	11,860円
事務所委託費	75,000円
カンパ	30,000円
備品費(腕章40本)	49,114円
予備費(韓国チャンセサン)	12,000円
小計	793,062円
< 差し引き >	17,903円
< 新年度への繰り越し >	486,212円

2007年度・運営委員紹介

伊藤彰信(代表)・松原明(副代表)・安田幸弘(副代表)・河添誠(事務局長)・武田敦(事務局次長)・西本敏子(会計)・下見徳章(会計監査)・杜海樹・神野圭介・浅井真由美・安斎徹雄・石川正志・岩川保久・佐々木有美・高幣真公・竹田和治・田島省三・中野聡・長岡義幸・新田進・広浜綾子・安田浩一・八幡純一・木下昌明・松浦望・尾澤邦子・土屋トカチ(新)・安並克磨(新)・東海林智(新)・森広泰平(新)・小松玲子(新)・小山帥人(大阪)・山原克二(大阪)

新運営委員の声・土屋トカチ 「労働組合ブーム」の勃発を期待

昨年2006年初旬まで、レイバーネット幽霊会員筆頭を務めておりました土屋トカチです。心を入れ替え、レイバーネットの会議等に顔を出すようになり、運営委員の仲間に加えていただきました。でも、運営委員となったのは、多分に成り行きです。だから人生は面白いです。ところで最近、労働や貧困に関する記事を報道するのが流行ってきているようですね。私の本職はフリーランスの映像ディレクターです。ブームに終わらない映像制作を心掛けて参ります。今年は、年内に「労働組合ブーム」が日本国内で勃発すると勝手に妄想しております。よろしくお願ひ致します。

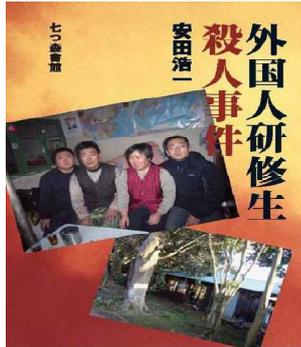
インフォメーション

キャンペーン企画「国民投票法案・私も反対です」

憲法改悪の準備法である「国民投票法案」が緊迫した事態を迎えている。レイバーネットでは、この法案の危険性を広く伝えるために、ネット上でキャンペーンを展開中。A.Hさんを中心に各分野の人からコメントを集め、連日掲載している。辻元清美さんからも国会前で「動画コメント」をいただいた。4/12には日比谷野音で大集会もある。

非人間性を徹底暴露した『外国人研修生殺人事件』

安田浩一著『外国人研修生殺人事件』(七つ森書館・1600円)が発刊された。昨年の8月、千葉県の養豚場で起きた中国人研修生の殺人事件。彼がなぜ人を殺さなければならなかったのか。研修生の故郷チチハルに飛んだ筆者は、研修制度に仕掛けられた二重、三重の罠を発見する。そして現代の「奴隷制度」と言われる外国人研修制度の悲惨と非人間性を徹底的に暴露していく。推理小説よりもおもしろく、純文学よりも泣ける。 03-3818-9311 七つ森書館。



大谷英貴さんをしのぶ会

3月3日、国労留萌闘争団でレイバーネット会員の大谷英貴さん(50歳)が亡くなった。進行ガンとの半年の闘病の末だった。上京オルグだった大谷さんは、国鉄闘争を拓げるカナメとして大活躍。また映画『人らしく生きよう』を通じて、日本と世界にこの問題を拓げていった。きたる5月19日(土)午後、「しのぶ会」を都内で開催することになった。詳細は後日ネットで。

JR 民営化 20年の検証パンフレット発行

今年4月1日、国鉄分割民営化・JR発足から満20年を迎える。中曽根政権が強引に押し進めた民営化が何をもたらしたか。理由とされた「長期債務」はどうなったのか。鉄道の安全は、そして労働者の状態は……。日本社会をガタガタにした民営化の歪みを、鎌田慧・立山学・安田浩一らが徹底追及。その3人の座談会を軸にした20年検証パンフレットが、国鉄闘争共闘会議から発行される。また4月24日(火)には、同じメンバーによる「検証集会」が、尼崎事故遺族を交えて、東京しごとセンターで開催される。

ドキュメンタリー映画『本山闘争・激闘34年の軌跡』が完成

34年間たたかい、2年前に職場復帰を果たした宮城県下の「全金本山闘争」。70年代には、暴力ガードマンとの激闘で知られているが、その歴史をまとめたドキュメンタリー映画(61分・DVD)がこのほど完成し、3月24日現地でお披露目があった。作品は、当時のフィルムも収められた貴重なもので「たたかえば勝てる」ことが、肌から伝わってくる。日本の労働運動もすてたもんじゃなかった。ことし全国で上映運動が計画されている。 022-274-0843 同労組。

『君が代不起立』に大きな反響

ドキュメンタリー映画『君が代不起立』は、大きな反響を拓げている。草の根上映会が全国各地で展開され、石原都知事の恐怖教育政治への批判が急速に高まっている。4/1 都知事選渦中に東京第二弾上映会、4/10には外国人記者クラブでの上映、そして4/27には東京・下高井戸シネマでの初の劇場上映も決まった。詳細・前売はビデオプレス(TEL03-3530-8588)へ。

土本典昭『映画は生きものの記録である』が5月下旬に公開

水俣病問題をはじめ、民衆のたたかいと生活を撮り続けた映像作家・土本典昭をテーマにしたドキュメンタリー『映画は生きものの記録である』(監督・藤本敏史)が完成した。5月下旬から東京・ユーロスペースで公開される。これは見逃せない。スリーピン03-5327-3771

ビデオ「もうひとつのアフリカ」～世界社会フォーラム2007～

世界社会フォーラム・2007ナイロビのドキュメンタリーDVD。2004年のムンバイと2005年のポルトアレグレの記録ビデオを作った小山帥人制作。3作目でWSFナイロビの焦点・特徴を鮮明に映す。

カラー 28分DVD / 2007年3月制作 / 撮影・編集 小山帥人 / 定価3,000円(ライブラリー価格8,000円) / 送料200円 / 販売: A P W S L 日本委員会 担当:高幣真公 takaheim@jca.apc.org TEL 047-467-1925 FAX 047-467-1966

『それでも住みたいフランス』刊行

レイバーネット会員でパリ在住の飛幡祐規さんの新刊『それでも住みたいフランス』が新潮社から刊行された。「フランスの魅力とは、お金で買えない、ひとこと言ってしまうっては空回りするような、成熟した、したたかな精神である」(まえがき)。長いものに簡単に巻かれないフランス人の精神から、日本がみえてくる。1400円。ビデオプレスで取扱中。

レイバーネット日本の会員になりませんか

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。

年会費 3,000円

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本
郵送宛先 〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17 403
レイバーネット日本事務局
入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org
電話 03-3530-8590 ファクス 03-3530-8578